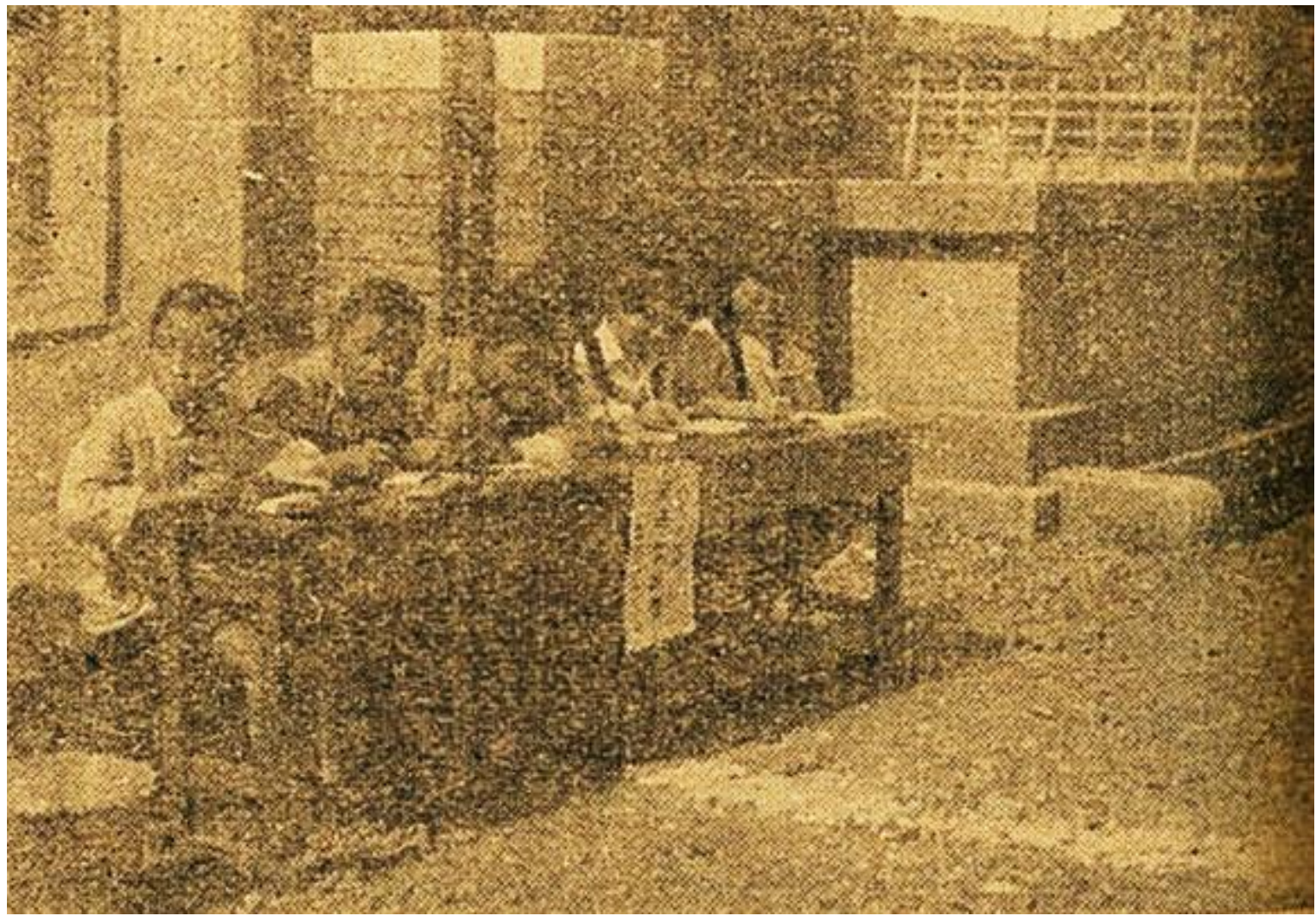


統計教育発祥の地は新潟県？

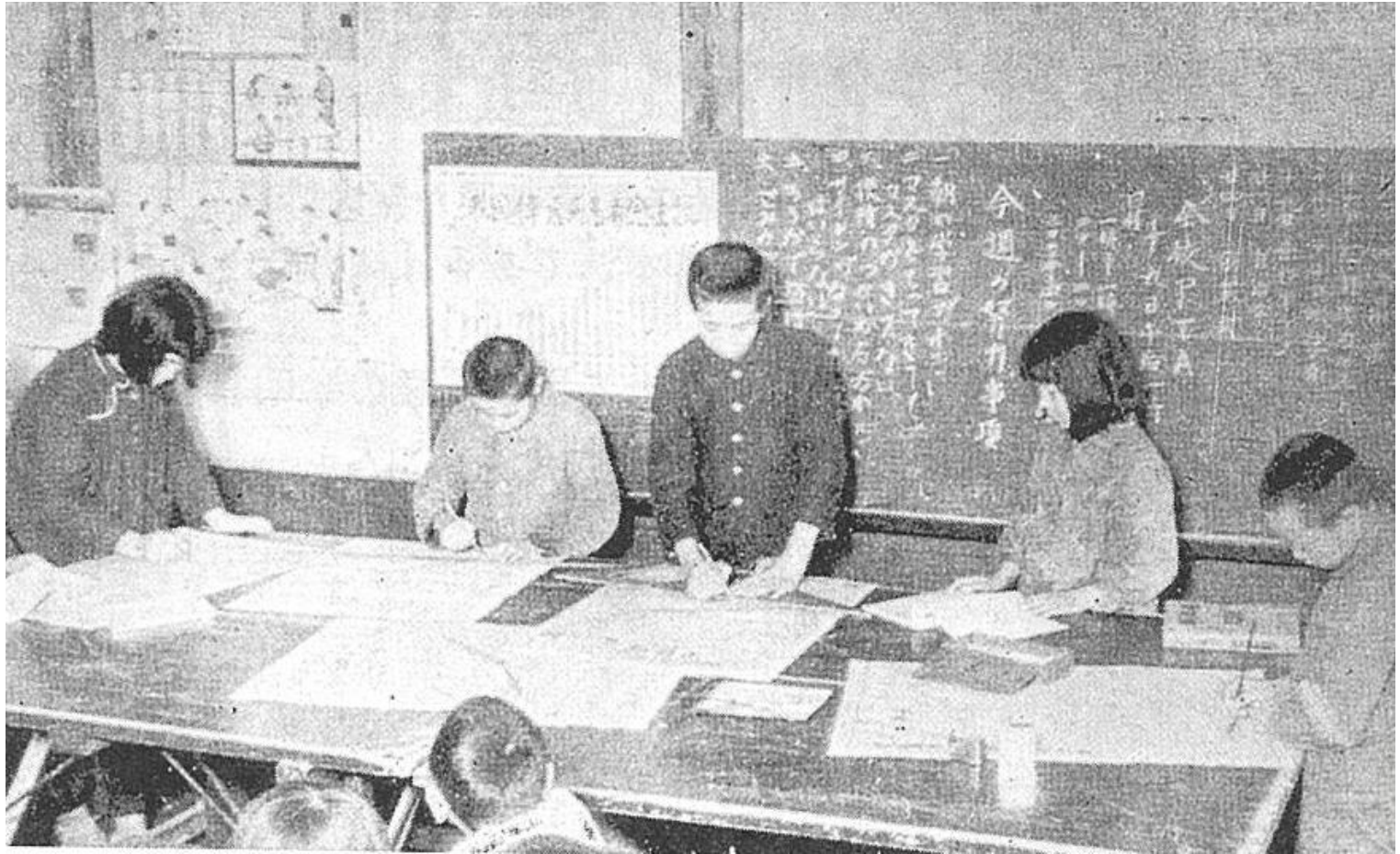
～新潟県の統計教育のあゆみ～

新潟県立教育センター 南雲裕介

参考資料：「県の黎明」、 「新潟県統計協会60年のあゆみ」、 「全国統計協会連合会五十年のあゆみ」



昭和23年 上越市の小学校での活動 校門で統計調査を行っている？



昭和23年 上越市の小学校での活動 グラフポスターを作っている？

統計教育協力校のあゆみ

昭和22年 (1947)

統計指定学校



昭和23年 (1948)

統計協力学校



昭和61年 (1986)

統計教育指定校



平成9年 (1997)

統計教育協力校

昭和22年 全国初 統計指定学校制度の創設

正しい國政は正しい統計から (2)

調査統計機關の強化が著しき實現して通じて

つゝあるが、いかに機體を整備されても、國民大衆の絶對的な理解と協力がなければ、正しい申告、正しい調査集計によつてなされたものでない限り、折角出来上つた統計も舊態依然たる粗漏杜撰の譏りは免かれぬところであらう。我々はこゝにおいて一般大衆に對して統計思想普及の一大國民運動を起すことを提唱したい。然しこのことの成就は一朝一夕でない。時の問題もあるものもある。或は又資金の問題も横たわつてゐるが、我々は健實に一歩々々この理想の實現に努力して行きたい。

本縣として初めての試みである統計指定學校の設定もこの運動の一つの現れであつて、その目的として、児童を學童に對する統計思想の啓培と學童を通じて家庭社會への統計思想の浸透を

國民大衆の絶對的な理解と協力が需要で、正しい申告と調査集計が行われなければならない。そのために、**統計普及の一大國民運動を起す。**

統計は新日本の設計圖

して黎明を
迎へよう

統計委員 山 中 四 郎

反省するとかたくしどもは一時も安んじ居られない思いにかられる。早く正しい光明を大きくかざして、くらやみをあかあかと照らしださなければならぬ。終戦後の混亂に、いずこももしれず、やみ夜に比む道を、明の黎明の光の中によみがえらせることは、ほんとうに重大な仕事である。新潟縣が、「縣の黎明」を統計家の協力によつて生みだそうとする努力は、まことに尊いことであると思う。

正しい統計、光明の統計を整えることとは、しかしながら容易なことではない。わたくしどもは、統計法に統計の眞實性の確保という目標を高くかかげたが、この目標は、あらゆる努力が効果をおさめてはじめて達せられる最後の到達點である。一つの統計を作らうとすれば、その調査の實施機關は、まず調査項目の選擇、調査票の設計、調査組織の編成等の企画をもつとも、科學的に正しく行わなければならないし、統計委員會は、それを更に内外の經驗に照らして充分に検討して萬全を期さなければならない。

統計標語

再教育目指して片手に統計
正しい統計 明るい政治
経済安定は統計から

上小園村 大久保義敏
森町村 早川俊博

学童への統計思想の啓培。

- ・ 統計に興味を持たせる。
- ・ 統計による社会事象の判断力を養成する。
- ・ 簡単な統計調査の方法を知らしめる。

学童を通じて家庭社会への統計思想を浸透させる。

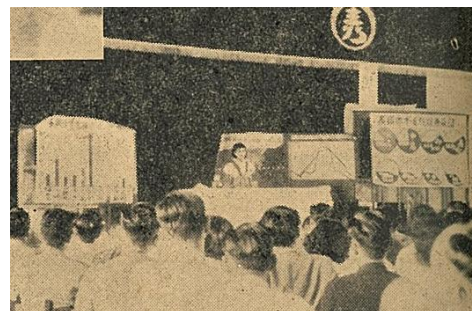
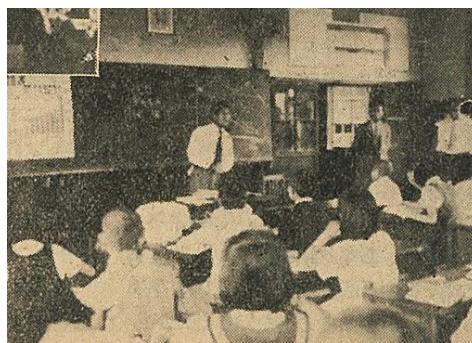
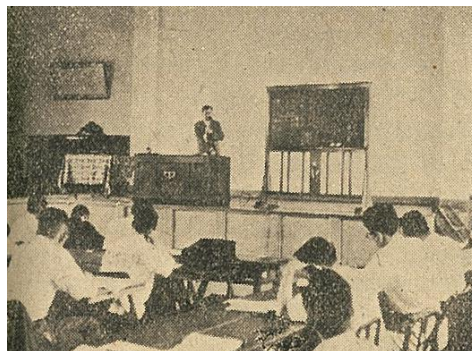
昭和二十二年指定學校

所在地	學校名	學校長	研究主任
新潟市	豊照小学校	服部堅之助	佐藤文夫
長岡市	表町小学校	小黒俊治	反町清治
高田市	東本町小学校	關 藤 一郎	吉越利勝
東蒲原郡	津川小学校	吉川 新 作	石川雄四郎
三島郡	中本小学校	駒形 政 次	吉田唯男
刈羽郡	奥通小学校	室屋 政 次	若井 唯 男
中魚沼郡	十日町小学校	松井秀治	高橋 廣 安
南魚沼郡	湯澤小学校	南雲晴政	五十嵐 佐八郎

初年度は9校の小学校からスタート
毎年拡充していき、将来は全県下の各學校に普及させていく方針

昭和25年『統計教育研究発表会（全国初）』を開催

第1回は上越市（旧高田市）東本町小学校で開催され、教員約200名が参加



＜プログラム＞

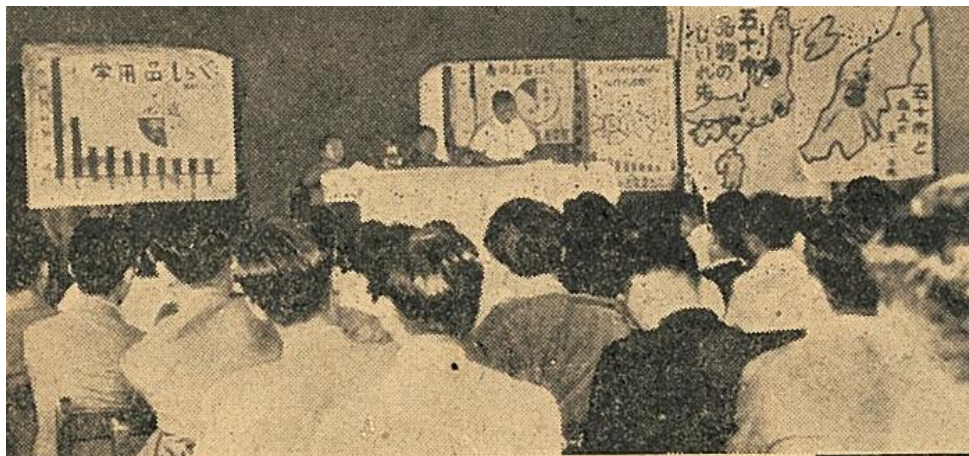
- ・ 研究授業の公開，参観
- ・ 講演会
森田優三氏（統計局長）
近藤次郎氏（東大講師，総理府技官）
文部省統計課長，新潟県知事，他
- ・ 研究発表
- ・ 研究協議会
- ・ 図表展示会

毎年1回開催され、参加者は年々増加

第2回 (S26)	新潟市立豊照小	約300名
第3回 (S27)	三条市立第二中	約350名
第4回 (S28)	長岡市立表町小	約650名
第5回 (S29)	柏崎市立枇杷島小	約 800名

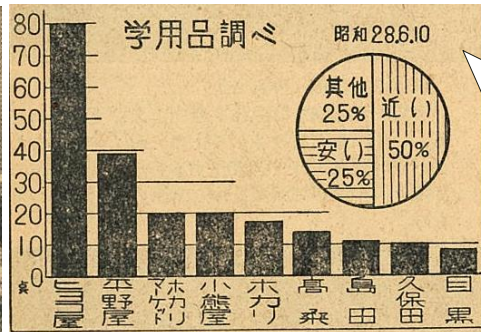
新潟県内の関係者に加え、北海道～鹿児島に至る250名の参加者があり、あたかも全国大会の盛況。

統計教育研究発表会 子ども達の発表①



第4回統計教育研究発表会

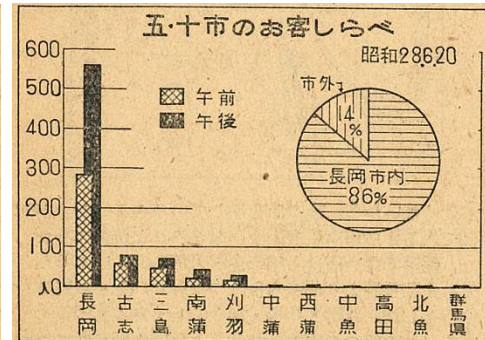
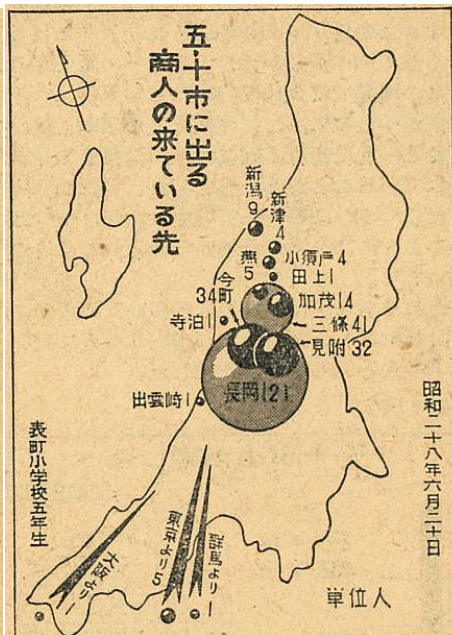
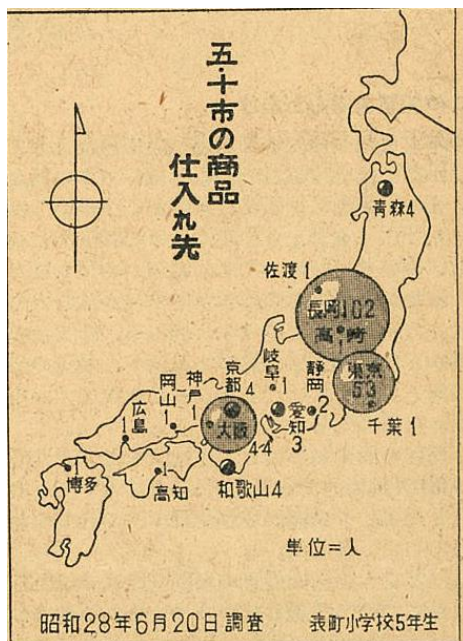
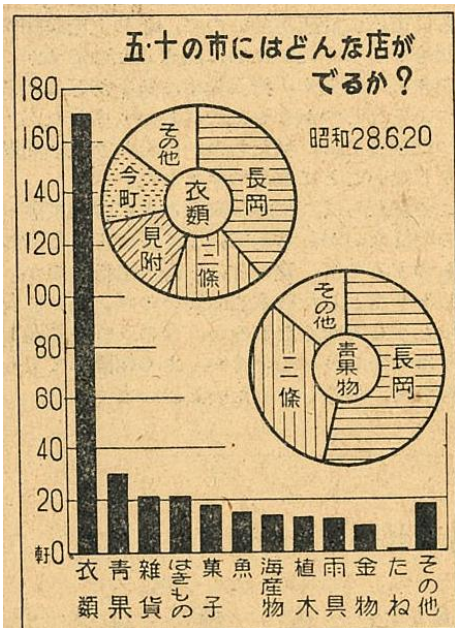
長岡市立表町小学校5年生
吉沢隆平 諸橋泰夫 吉川博儀 君



クラスでのお得意の店調査の結果

この結果から、クラスで話し合いがあり、近い所がいいのに、なぜ遠くまで買いに行く人がいるのか？安いというけど、品の良し悪しがあるので？など、いくつも問題がでてきた。

解決の糸口になるかも！と毎日にぎわう「五・十の市」を調べてみるようになった。



- ・人が集まる理由は安いという理由なのか？
- ・本当に安いのか？
- ・安いならなぜ安いのか？

という、新しい疑問が出た。

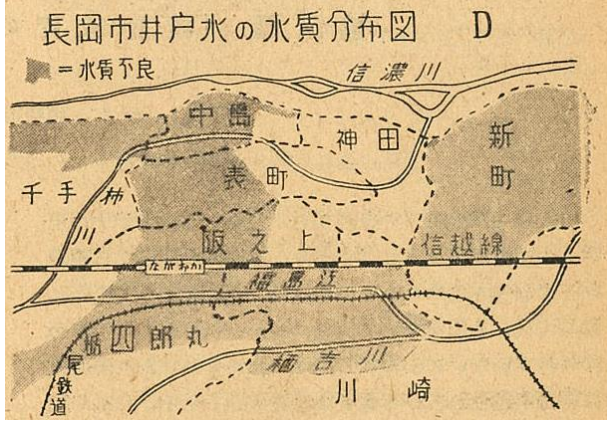
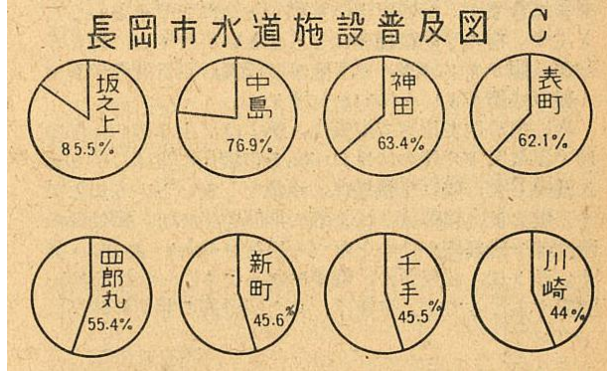
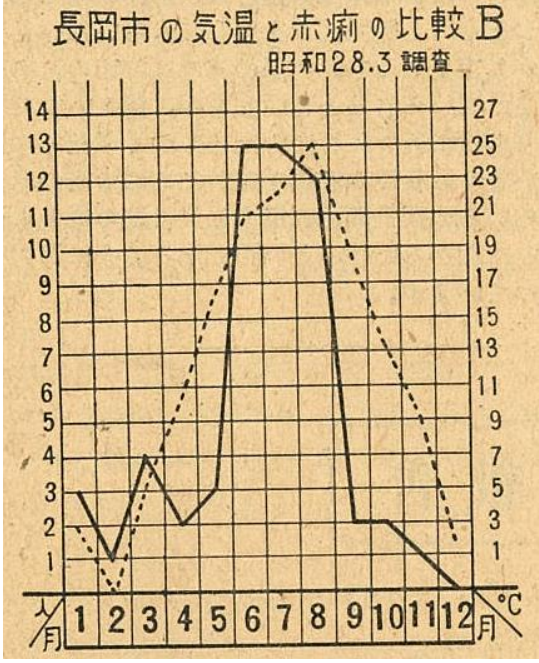
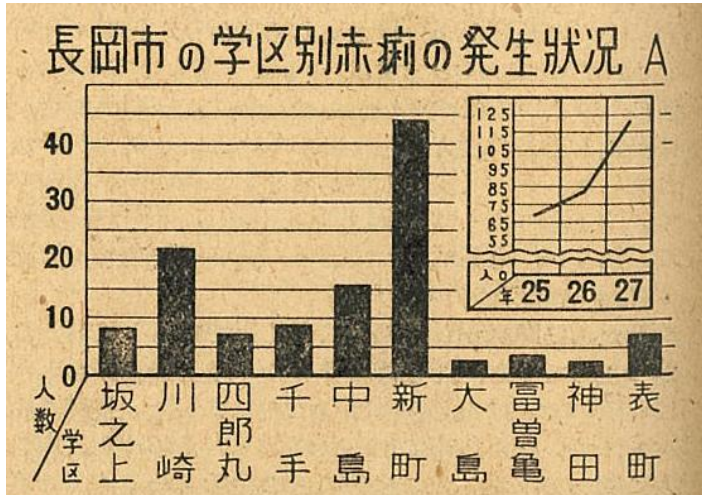
統計教育研究発表会 子ども達の発表②



第4回統計教育研究発表会 長岡市立表町小学校6年生 佐藤良子さん

理科の伝染病のことで保健所を訪れ、赤痢の患者が増えてきたという事を聞いたこと。テレビやラジオで集団赤痢事件の事を頻繁に聞くことから

「なぜ、赤痢は夏に多く発生するのだろうか。」という疑問を持ち
長岡市の赤痢について調べた。



- ・ 赤痢菌の増える温度
- ・ 媒介するハエの繁殖
- ・ 戦後の上下水道の復旧
- ・ 井戸水の水質
- ・ 夏の信濃川の水質

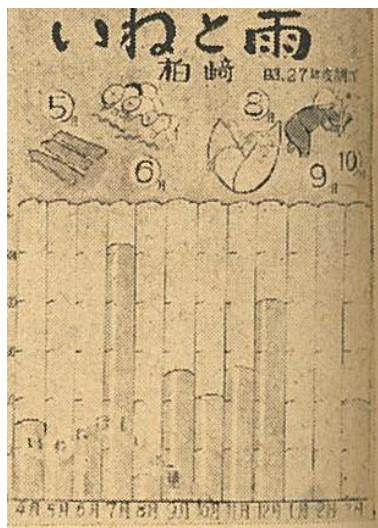
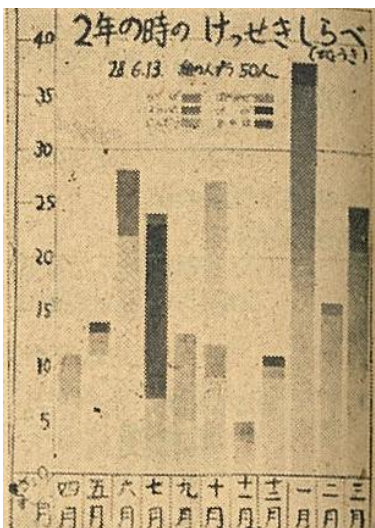
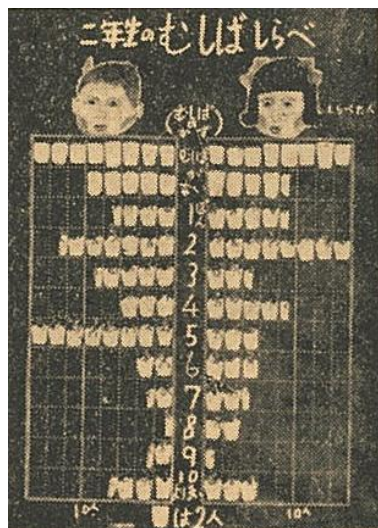
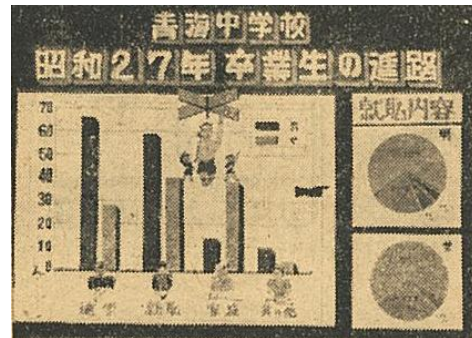
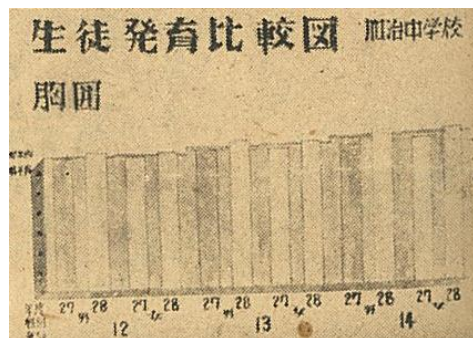
が関係していることが分かった。

対策として、ハエ取り、信濃川支流の清掃、予防接種を徹底する。

統計図表展示会の作品

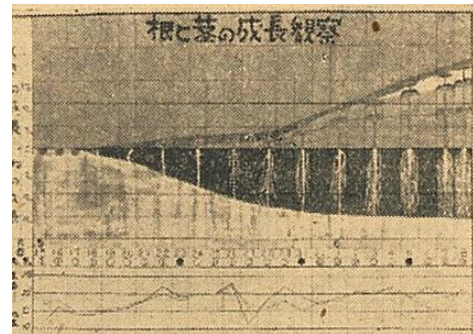
～統計グラフコンクールの前身?～

第2回統計教育発表会から行われている, 統計ポスターの展示会 (第1回統計教育発表会的时候はプレでおこなわれていた)



〈部門〉
学校の部, 教職員の部, 生徒児童の部

〈賞〉
文部大臣賞, 行政管理庁統計基準部長賞,
総理府統計局長賞, 新潟県知事賞, 新潟
県教育委員会賞, 新潟県統計協会賞

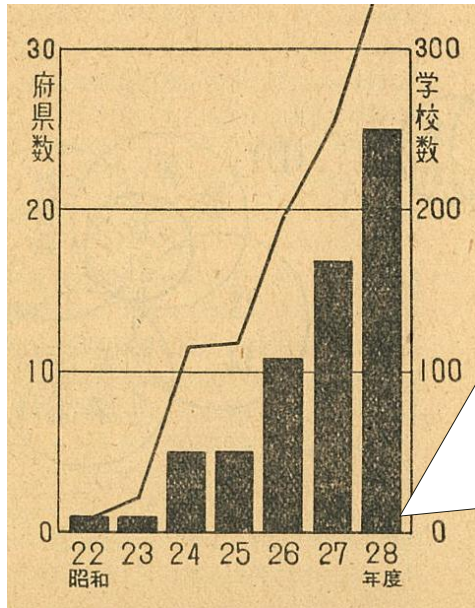


第1回統計グラフ全国コンクール開催年

第2回 (S26)	第3回 (S27)	第4回 (S28)	第5回 (S29)
統計協力学校職員, 児童生徒の作品	303点	291点	261点

統計協力学校の発展 (昭和28年度)

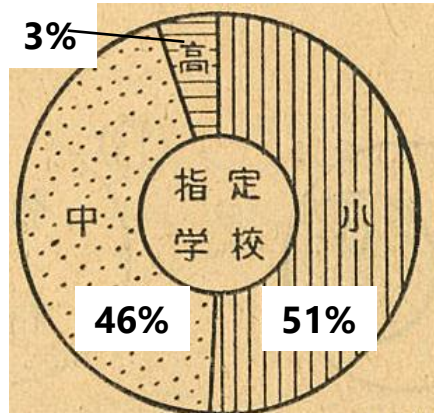
＜統計協力学校数の推移＞



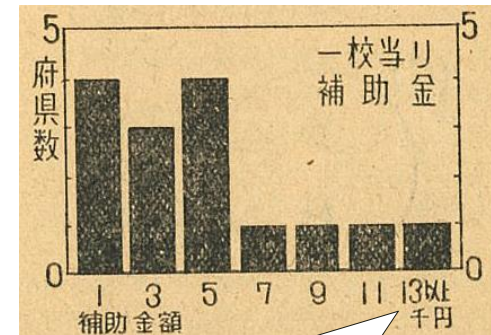
25道府県
341校

北海道 岩手
宮城 秋田
福島 茨城
埼玉 千葉
神奈川 新潟
石川 福井
山梨 滋賀
鳥取 島根
岡山 広島
山口 徳島
愛媛 高知
長崎 熊本
鹿児島

＜協力学校の種別＞



＜一校あたりの補助金額＞

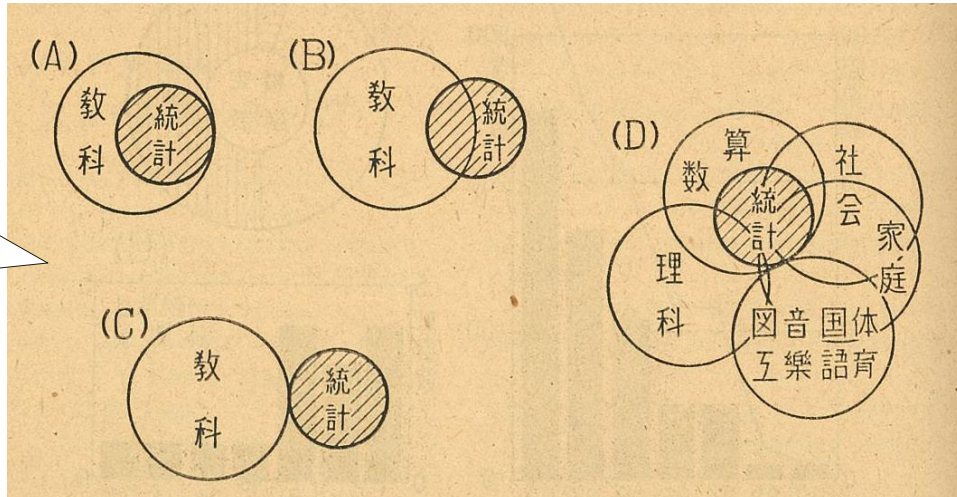


最高は山口県の1万8千円

＜教科と統計教育の位置＞

統計教育の位置づけは難しく、小学校においては児童の環境や心身発達を考慮にいれなければならない。自然と教科の中に出てくるような教育計画を立てておく必要がある。

一番大事なことは、現場で教育に携わる**先生自身が統計教育に興味を持たなければならない。**



なぜ新潟県から統計教育が始まった？

米国第1次統計使節団長

ライス博士 報告書

「統計的なものの見方・考え方を子どもの頃から身につけさせ、これを日本人の第二の天性たらしめよ。それを可能にするのは統計教育である。」

「統計教育の問題は初級、上級学校の全部に亘って同時に着手されなくてはならない。」

